

# コピーしてすぐ使える 5分理科教科書プリント 4年

下記のページに誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。喜楽研

## P43 解答

※ 別のページの解答例が記載されています。

正しい解答例を以下に掲載致します。こちらをご利用ください。

季節と生物③ 秋

秋の生物のようす①

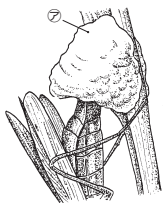
名 月 日  
前

● 秋の生物のようすを観察して、夏のようにすとくらべました。

① 秋のようすについて、( ) にあてはまる言葉を□から選んで書きましょう。

秋になると( **気温** )が下がり、虫などの活動が( **にぶく** )  
なっている。11月の中ごろになると、サクラは、葉の色が変わって  
( **かれ** )始めている。

活発に にぶく かれ しげり 気温



② 校庭で見つけたオオカマキリが、はらのところからあわのようなもの⑦を出していました。春にもみかけた、図の⑦は何とよびますか。

オオカマキリの( **らんのう** )

③ ⑦の中には、何が入っていますか。

オオカマキリの( **たまご** )

④ ツバメの巣を観察していましたが、ツバメのすがたは見られませんでした。ツバメのすがたが見られなくなった理由で、あてはまるもの1つに○をつけましょう。

( ) 森や山に別の巣を作って移動した。

( ) 日本より北のほうへわたった。

( **○** ) 日本より南のほうへわたった。

【言葉】わたり鳥「夏鳥」「冬鳥」

ツバメのように、長いきよりをい動し、季節によって過ごす場所を変える鳥をわたり鳥といいます。日本では、日本で夏を過ごすツバメのような鳥を夏鳥、日本で冬を過ごすハクチョウのような鳥を冬鳥とよびます。

季節と生物③ 秋

秋の生物のようす②

名 月 日  
前

● 秋の動物のようすを観察しました。

① ヒキガエルのすがたをさがすと、夏とはちがう所にいました。どこにいたか、あてはまるほうに○をつけましょう。

( ) 高い木の上 ( **○** ) 落ち葉の中

② 秋が深まり寒くなったころ、ナナホシテントウも植物の間にかくれていました。ナナホシテントウが植物の間にかくれていた理由で、あてはまるもの1つに○をつけましょう。

( ) たまごをうんでいた。

( **○** ) 寒さをさけていた。

( ) だっぴをしようとしていた。

③ 秋の虫などの動物のようすについて、( ) にあてはまる言葉を□から選んで書きましょう。

気温が下がると、虫などの動物は( **たまご** )をうんで死んだり、  
活動が( **にぶく** )なったり、( **すむ** )場所を変えたりする。

活発に にぶく たまご よう虫 すむ

【言葉】秋に鳴くこん虫

夏にセミの音が聞こえたように、秋にもこん虫の鳴き声が聞こえてきます。「コロコロコロリー」と鳴くのはエンマコオロギです。鳴くのはオスだけで、羽をこすり合わせて鳴きます。メスには、たまごをうむための「くだ」があり、このくだを土の中にさしこんでたまごをうみます。春がくると、たまごからよう虫がかえって成長し、夏ごろに成虫になります。

ほかにも秋に鳴くこん虫をさがしてみよう。

